

議会だより

No.99

令和7年8月
2025.8

のせ

能勢町役場

能勢町役場周辺案内図

予算常任委員会報告、5月会議報告・・・P2

6月定例会議報告・・・・・・・・・・・・・・P3

一般質問・・・・・・・・・・・・・・P5

予算常任委員会報告

6月19日 開催

委員長 井上 加奈子

予算常任委員会に付託された「令和7年度能勢町一般会計補正予算(第1号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は、次のとおりです。

ガバメントクラウド※¹への移行

問 ガバメントクラウドへの移行に係るシステム更新費の内容と、標準化について問う。

答 国の補助対象外のシステム更新として5つ（内部情報、農家台帳、コンビニ交付等）のサーバーのリプレイス※²をする。
国の方針では標準化にあたりカスタマイズを行わないよう指示されており、システム業者と調整を進めている。

※1…政府共通のクラウドサービス

※2…コンピュータ機器等を新しいものにする

し尿処理施設整備工事の増額

問 し尿処理施設整備工事について、今回の増額要因を問う。

答 昨年度の単価を基に算出した予算に対し、今年度の新単価で資材・人件費などが大幅に上昇している。スライド条項（物価変動による契約変更規定）に基づき、差額分を増額するものである。

正規職員と会計年度任用職員の現状

問 正規職員の確保状況について問う。

答 定員適正化計画において定員は113名とされているが、実人数は109名。不足を会計年度任用職員で補っている。採用は応募数が少なく、特に技術職の確保が難しい。
今後も途中採用を含めて人員確保に努める。

消防団員の確保・退職報償金

問 消防団員の退職報償金、団員の確保等について問う。

答 令和6年度末で退団した20名と令和7年度の途中退団2名分を見込んだ予算である。令和7年度に21名が入団し、団員数は前年と同水準の408名を維持している。
今後は団員確保が厳しくなると思われるため、機能別消防団への参加の周知を考えている。

带状疱疹ワクチン接種の助成対象

問 带状疱疹ワクチンの助成について、対象年齢を問う。

答 対象者は65歳。70歳から5歳刻みで100歳までは救済措置とされており、それ以外の年齢層については助成の対象外である。

令和7年 能勢町議会5月会議報告

5月12日開催

5月会議には、報告2件、人事1件、議会議案1件の合計4件が提出され、下記のとおり決定しました。

◇専決処分の報告について「能勢町税条例の一部を改正する条例」

◇専決処分の報告について「令和6年度能勢町一般会計補正予算(第8号)」

◇監査委員の選任につき同意を求めることについて

監査委員 大西 則宏 氏

◇広報特別委員会の設置について

令和7年 能勢町議会6月定例会議報告

6月16・17・18・20・23日開催

6月定例会議には、報告1件、条例2件、補正予算3件、契約案件5件の合計11件が提出されました。
賛否が分かれた案件の結果は賛否表のとおりです。その他の案件は賛成全員で可決されました。

◇繰越明許費繰越計算書について「令和6年度一般会計予算」

◇能勢町議会議員及び能勢町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

賛 否

原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

◇能勢町放課後児童クラブに関する条例等の一部を改正する条例について

賛成全員で原案可決（放課後児童クラブの待機児童解消のため、長期保育の定員を設定・関係条例の改正）

◇令和7年度能勢町一般会計補正予算(第1号)

補正額 1億1,904万円

(主なもの)

・コミュニティ助成事業	230万円
・電算等改修委託料	3,700万円
・価格高騰重点支援給付金	3,500万円
・予防接種事業	843万円
・污水处理施設共同整備事業	1,126万円
・獣害防止事業補助金	240万円
・新規就農者育成総合対策事業補助金	369万円
・消防団員退職報償金	783万円

賛 否

原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

◇令和7年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 1,253万円（子ども・子育て支援計画に伴うシステムの改修費等）

賛 否

原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

◇旧田尻小学校校舎等解体工事請負契約の締結について

契約の方法	一般競争入札
契約金額	183,610,900円(消費税込)
契約の相手方	株式会社ホンダ

賛 否

原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

◇能勢町保健福祉センター大規模改修工事請負契約の締結について

契約の方法 一般競争入札
契約金額 187,968,000円(消費税込)
契約の相手方 株式会社トータル能勢支店・株式会社がいちぐみ特定建設工事共同企業体

賛 否 原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

◇動産の買入れについて(学習者用コンピュータ)

買入れ動産 学習者用コンピュータ 450台
買入れ金額 28,154,500円(消費税込)
買入れ先 令和7年度大阪府GIGAスクール(ChromeOS)共同企業体
代表構成員:日本電通株式会社

賛 否 原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

◇動産の買入れについて(消防車両)

買入れ動産 消防ポンプ自動車 1台
買入れ金額 28,600,000円(消費税込)
買入れ先 株式会社モリタ関西支店

賛 否 原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

◇能勢町し尿処理施設改造工事変更契約の締結について

変更前の契約金額 324,500,000円
変更後の契約金額 335,761,800円
変更増金額 11,261,800円

賛 否 原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

◇令和7年度能勢町一般会計補正予算(第2号)

補正額 741万円

(主なもの)

物価高騰対策支援交付金
・自治会等の負担緩和 440万円
・介護施設等への支援 183万円
・学校給食材料費 100万円

賛 否 原案可決

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	大西 則宏	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

一

般

質

問



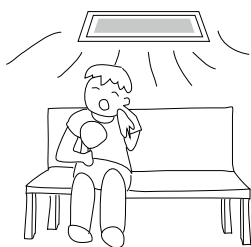
町民のみなさんの生活を、より良いものにするため、町に対して質問を行いました。主な内容をお知らせいたします。

- P5 …… 難波希美子
P6 …… 岡田 康司、畠中 勝身
P7 …… 中西 顕治、井上加奈子
P8 …… 森田 則子、川口 省子
P9 …… 岡本ひとし、中植 昭彦

一般質問



答 今後検討していく。
問 マップの発行年が前回・今回ともに記入がない。混乱しないか。
答 雨季に間に合わせるために急ぎよ作成したのでできなかった。



答 今後検討していく。
問 アラートが出なくても涼める「クールオアシス」はすでに町内の事業者が始めている。互いに協力できないか。
答 定員等は協議していく。

答 伝えていない。
問 まちづくり構想図の区域外農地交換エリアの地権者は、自分の土地が交換エリアになっていることを知っているのか。

答 任意である。
問 事業化検討アドバイザーとまちづくり協議会の問答は会員全員に了解を得ているのか。
答 理事会で了解を得ている。

問 ハザードマップの内容を変更した理由は。
答 浸水深の色の塗分けに誤りがあった事と有益な情報、防災力の充実を図るため。
問 外国人にも解りやすい表記にできなかったのか。

答 役場・浄るりシアター・ふれあいプラザ・保健福祉センター・生涯学習センターを考えている。
問 会員は任意か。強制か。

答 任意である。
問 事業化検討アドバイザーとまちづくり協議会の問答は会員全員に了解を得ているのか。
答 理事会で了解を得ている。

防災

熱中症対策

まちづくり協議会



難波 希美子

- ③ ② ①
まちづくり協議会
熱中症対策
防災



岡田 康司

① 能勢町の道 ② 能勢町内における防犯対策 (街灯および防犯カメラの設置等) 防災対策(消防団再編等)

問 道路の補修整備、維持整備はどの様に計画を立て、行っているか問う。

答 管理者としてパトロールや、自治区からの通報等により対応している。また、施工規模の大きな舗装修繕や橋梁修繕は、計画に基づき実施しており、その他の道路整備や補修は、緊急性や重要性を考慮し、順次実施している。

問 インフラ整備の点検を行っているか問う。

答 道路橋は5年ごとに点検、現在229橋は健全な状態にあり、下水道は、硫化水素が発生しやすい橋梁添架付近の管路が腐食しやすく、5年ごとに点検を実施している。

問 町管理の道路以外は、どのように取り組んでいるか問う。

答 国道、府道は、池田土木事務所に連絡。

問 街灯、防犯カメラの設置等について、どのような考えがあるか問う。

答 協働事業交付金を活用し、各区の実情に合わせて新設、LED化など、適時対応していただいている。また、防犯カメラは通学路、地区境界、主要な交差点に26台設置し、順次更新を予定している。

問 防災対策、認知症行方不明者の対策強化に取り組まれているか問う。

答 各地区防犯委員会、豊能警察署と連携し、地域に根差した活動に努めている。また、認知症行方不明者の対策は警察署、消防署、その他関係機関などの協力を得て、ネットワークを構築し、安全確保に資する事業を実施している。



一般質問



畠中 勝身

自治会館でのAED

問 田尻地域の催し物があれば、高齢者から小さな子どもたちまでが会館にあつまり楽しい1日を過ごすのが慣例になっている。

答 自治会館でのAEDの設置数は1箇所となっており、救命講習については、昨年、豊中市北消防署能勢町分署が、町内事業所等に延べ15回、259人に実施している。自治会館での実績はない。

問 AEDを自治会館に設置すれば、大変な予算が発生する。

答 自治防災組織設置助成金は一度しか使えないのか問う。

答 地域の機運醸成や組織設置の促進を目的としていることから、機器更新の際に必要な費用等については、協働事業交付金を活用していただきたい。

問 町の負担で自治会館にAED設置の考えはないのか問う。

答 AEDの設置については基本的に事業者に任せている。

問 24時間営業しているコンビニにAEDを置く必要性を問う。

答 AEDの設置については基本的に事業者に任せている。



答 町負担での考えはなく、協働事業交付金を活用していただきたい。新たな制度等ができれば直ちに案内する。



中西 顕治

企業誘致事業

問 まちづくり協議会の組織構成と役割は。

答 対象地域の地権者と、土地を借りて建物と所有している者で構成され、地域計画を主体的に検討・議論する組織。町と連携しながらまちづくりの方向性を決定する役割を担う。

問 土地区画整理準備組合の役割は。

答 土地区画整理組合の設立準備段階の組織。農振除外や市街化区域編入手続を担う。

問 参入企業に対する土地の売買・賃貸はどのように行われるか。

答 換地後、地権者が集まり、参入企業と民民契

① 企業誘致事業

② 学校給食の地産地消に向けた施策

約を行う。組合がその調整役となる。

問 参入企業が途中で撤退した場合。

答 組合または業務代行者が代替企業を募ることになる。空き地のままでは資金回収ができず、他手段を模索する必要がある。

問 町がこの事業に対して経済的リスクを負うことはあるか。

答 民間主導の土地区画整理事業であるため、地権者と業務代行者が責任を負い、町が負担することはない。



学校給食の地産地消

問 地産地消に向けた施策の検討状況は。

答 「能勢町学校給食地産地消推進協議会」を6月下旬に設立予定。

問 構成団体は教育委員会、ささゆり学園、能勢町直販協議会、物産センター、4日クラブ、北部農協、北部農と緑の総合事務所と考えている。

問 実施に向けた課題は。

答 納入基準等、課題の洗い出し段階である。

問 納入農家の確保状況は。

答 現時点では物産センターや4日クラブ等で進めようとしている。また、必要に応じてさらなる支援依頼も検討。

一般質問



井上 加奈子

問 旧小中学校体育施設の一般利用終了の見直しについて問う。

答 本年4月より利用団体を「公共的団体など」に限定したことに伴い、問い合わせがあったため、利用に関する条件等を整理し、「など」の部分を次の通り公共的と認められる団体として再定義した。

問 ①子どもたちに地域に根差したスポーツの場を提供し、計画的かつ継続的なスポーツ実践を通じて健全な育成を目指すスポーツ少年団などの組織②本町等と協働して事業を実施するなど、連携・協力関係にある団体何団体が継続利用可

能となる見込みか。

答 21団体中、10団体程度。

問 これまで旧小中学校施設を利用していない団体が今後申請した場合、同様に公共的団体として利用を認めるか。

答 規程に則って、要件に該当すれば許可するが、利用を促進するものではなく、普通財産の管理の範囲内で許可をするので、利用周知は行わない。

問 再定義された「公共的団体」の要件に該当しないが、今後「部活動の地域展開」を円滑に進めていくためにも、多世代が関与する地域スポーツ団体の公共性についてどう考えるか。

今後の体育施設、社会体育のあり方

答 多世代によるスポーツ振興は重要な観点である。中山間地での部活動の地域展開は難しい現状にあるが、能勢に合わせた形のものをつくり上げていきたい。

問 B&G海洋センターの改修について問う。

答 令和5年4月に策定した能勢町スポーツ施設個別施設計画に基づき、長寿命化を進めていきたい。計画年については現在調整中である。





森田 則子

熱中症対策

問 熱中症の予防に暑熱順化の取組みの推進や、死亡・重症化を防ぐ命を守る取組みを問う。

答 暑熱順化を含めた熱中症対策を、町ホームページ等で、住民へ向け情報発信を行っていく。

問 救急搬送者の83%が高齢者であり、発生場所は室内が約7割となっている。エアコン使用の推進について、また、高齢者の熱中症対策として、福祉・介護・医療との連携をどう取り組むのか。

答 エアコン使用などの予防策を地域コミュニティによる見守りや声かけ等で周知していきたい。

- ① 住民の命を守る熱中症対策
- ② 体育館の空調設備(エアコン)の整備
- ③ 憩いの広場に遊具を設置

今後の福祉・介護・医療の連携については、定期的な会議の場で対策を協議して行く。

体育館の空調設備の整備



答 国の空調設備整備臨時交付金を活用して設置できるように、配管計画など具体的に検討し、設計に向けて準備を進めて行く。

憩いの広場に遊具を設置

問 憩いの広場の設計にあたり、特に子育て世代から遊具の設置について強い要望がある。今、注目されている障害の有無に関わらずあらゆる人が一緒に遊べるインクルーシブ遊具の設置を提案するが見解を問う。

答 広場への遊具については予算を踏まえ、インクルーシブ遊具を検討する。遊具も何もないという公園にはならないと考えている。

一般質問



川口 省子

- ① ドクターヘリ運用の課題
- ② AEDのフル活用
- ③ 町民一人ひとりの救命救急に対する意識向上

問 救命救急の救世主ともいえるドクターヘリのヘリポートの課題は。

答 現在2カ所のヘリポートで運用。町域の広さを考慮すると、新たなヘリポートが確保できればより望ましい。

問 約10年前の定例会議で、もう1カ所ヘリポートを検討する旨の答弁があったが、未だ確定していないことをどのように考えているか。

答 引き続き町の資産も含め検討を進めたい。

問 本町内のAED設置状況を問う。

答 公共施設、民間の施設等、26カ所の設置を確認している。

候や夜間には出動できない。その代替策として役立つのが、AEDになるのではないかと。

答 AEDの重要性は当然認識している。

問 119番通報からすぐに救急車到着の地域と、15分以上かかる地域との時間差を考慮して、時間を要する自治区にAEDを本町から提供し、初期対応してもらおうようにしているか。

答 その地域だけというのは難しい。協働事業交付金や自主防災組織設置時助成金30万円などの活用を周知していく。

問 実用性を持ってAEDを活用するため、ケース内に胸部を覆う三角巾

の配備を要望する。

答 費用がかかることであり、検討していきたい。

問 町民の意識向上には、まず、AEDの設置場所の見える化、周知徹底をすべきではないか。

答 ホームページやLINEで早急に周知を図りたい。

問 救急救命の講習会は各自自治区に出向き開催してもらいたい。

答 今年度東地域で、救命措置、AEDの使い方等について講習会を考えている。





岡本 ひとし

選挙制度

選挙の在り方について

ないか問う。

問 現在の選挙の在り方を問う。

答 民主主義の根幹をなし、住民が主権者としてその意思を政治に反映させる最大の機会であり、誰もが投票しやすい環境の整備が必要である。

問 期日前投票の在り方を問う。

答 投票機会の確保に有益であるが、増設等についてはシステム整備や人員確保が急務である。

問 期日前の投票率が2割を超えるが、認識を問う。

答 指摘の通りと認識する。

問 東地域での期日前投票所を一日でも設置できないか問う。

答 選挙管理委員会において継続した議論をしているが、開設の人員確保が困難である。

問 役場の一ヶ所では不平等ではないか。

答 指摘の通り、不便であるという意味では間違いない。今後も引き続き検討する。

問 やらないための議論でなく、やるための議論が必要だが、町長の認識を問う。

答 指摘の通りと認識する。引き続き選挙管理委員会に要請する。

	令和7年議会議員選挙		令和3年議会議員選挙		平成29年議会議員選挙	
投票区	当日投票率	期日前	当日投票率	期日前	当日投票率	期日前
1	37.25%	23.20%	41.01%	22.78%	45.37%	17.58%
2	53.70%	12.04%	58.82%	8.40%	55.47%	8.03%
3	26.70%	24.21%	30.54%	24.95%	33.16%	20.00%
4	39.78%	26.52%	38.10%	20.18%	43.80%	11.98%
5	44.66%	17.81%	52.36%	13.49%	56.82%	12.45%
6	52.40%	10.61%	52.09%	12.05%	59.79%	6.01%
合計	35.30%	21.82%	38.71%	21.20%	42.61%	16.31%

一般質問



中植 昭彦

定額制町営交通の導入と移動手段の再構築

問 高齢化に伴う移動手段の確保として、定額制町営交通導入の可能性を問う。

答 町民の移動手段確保は重要課題であり、特に免許返納が進む中、交通弱者への対応が急務である。町営交通導入は現段階ではドライバー不足や運行管理体制の確保など困難と認識している。

問 利便性向上と住民負担の軽減を両立するため、今後どのように検討を進めるのか。

答 関係人口の創出・拡大に注力している。体験交流や情報発信を通じて町との継続的関係を築き、最終的な定住につなげる方針である。

問 関係人口拡大と定住促進を見据えた地方創生戦略について問う。

答 関係人口の創出・拡大に注力している。体験交流や情報発信を通じて町との継続的関係を築き、最終的な定住につなげる方針である。

問 関係人口拡大と定住促進を見据えた地方創生戦略について問う。

答 関係人口の創出・拡大に注力している。体験交流や情報発信を通じて町との継続的関係を築き、最終的な定住につなげる方針である。

問 関係人口拡大と定住促進を見据えた地方創生戦略について問う。

答 関係人口の創出・拡大に注力している。体験交流や情報発信を通じて町との継続的関係を築き、最終的な定住につなげる方針である。

① 定額制町営交通の導入と移動手段の再構築

② 関係人口拡大による持続可能な地方創生戦略

持続可能な地方創生戦略

答 地域公共交通会議を通じて、交通事業者や住民代表の意見を反映し、持続可能な制度設計を検討する。交通空白地の発生を防ぐため、予算配分の公平性も踏まえ手段を柔軟に検討していく。

問 移動手段確保との連携について町の見解は。

答 交通インフラの整備は、関係人口から定住人口への移行を促す重要要素である。企業誘致や住宅整備と併せて、暮らしやすい環境づくりを一体的に推進する。

問 関係人口拡大と定住促進を見据えた地方創生戦略について問う。

答 関係人口の創出・拡大に注力している。体験交流や情報発信を通じて町との継続的関係を築き、最終的な定住につなげる方針である。

問 関係人口拡大と定住促進を見据えた地方創生戦略について問う。

答 関係人口の創出・拡大に注力している。体験交流や情報発信を通じて町との継続的関係を築き、最終的な定住につなげる方針である。

問 関係人口拡大と定住促進を見据えた地方創生戦略について問う。

答 関係人口の創出・拡大に注力している。体験交流や情報発信を通じて町との継続的関係を築き、最終的な定住につなげる方針である。

問 関係人口拡大と定住促進を見据えた地方創生戦略について問う。

答 関係人口の創出・拡大に注力している。体験交流や情報発信を通じて町との継続的関係を築き、最終的な定住につなげる方針である。

問 関係人口拡大と定住促進を見据えた地方創生戦略について問う。



能勢町オリジナルマンホール蓋

能勢浄化センターの玄関には町民からの公募で決定したデザインの能勢町マンホール蓋が飾られています。

能勢の里山の象徴である、かやぶき屋根の古民家と「日本棚田百選」に選ばれた長谷の棚田。そして前景に能勢発祥の栗「銀寄」の葉や実を描くことによって遠近感を出し、里山景観の縮図を独創的に表現しています。

カラーのマンホール蓋はここにしかありませんが、下水道のある地域で足元に目を落としてみてください。同じデザインのマンホール蓋が設置されています。

また、能勢浄化センターには現在開催中の大阪・関西万博ミャクミャク仕様のマンホール蓋も並んで飾られています。

一度見学に出向いてみてはいかがでしょうか。



— おしらせ —

令和7年能勢町議会9月定例会議は9月10日（水）から開会されます。

詳細な日程は、決定次第ホームページなどでお知らせします。

編集後記

夏本番を迎えました。しっかりと熱中症対策をしながら、引き続き体調には十分に気をつけてお過ごしください。

改選後初めての6月定例会議では新人も含め、様々に質疑がなされました。

広報特別委員会も新メンバーでの本格的な編集をスタートしました。

町民の皆様には議会の内容や活動などを、より分かりやすくお伝えできる紙面作りに取り組んでまいります。

皆様からのご意見やご要望などぜひともお寄せください。

広報特別委員会

委員長	畠中 勝身	副委員長	川口 省子
委員	森田 則子	岡田 康司	難波 希美子

発行／能勢町議会 発行責任者／平田 要 編集／広報特別委員会 発行日／令和7年8月1日
〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地
TEL(072)734-0151 FAX(072)734-2460
ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>

能勢町議会

